

製品安全データシート

1．製品及び会社情報

製品名	スタウトダントツ箱粒剤
会社名	住友化学株式会社
住所	〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1
担当部署	アグロ事業部　お客様相談室
電話番号	0570-058-669

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分１Ａ
環境に対する有害性	水性環境有害性・急性	区分１
	水生環境有害性・慢性	区分１

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

シンボル　健康有害性　環境

注意喚起語　危険

危険有害性情報
発がんのおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き
【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
漏出物を回収すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物
農薬の種類名　ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ・ｲｿﾁｱﾆﾙ粒剤
有効成分①
　化学名（一般名）　(E)-1-(2-ｸﾛﾛ-1,3-ﾁｱｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙﾒﾁﾙ)-3-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛｸﾞｱﾆｼﾞﾝ（ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ）
　化学特性　$C_6H_8ClN_5O_2S$
　含有量(純度)　1.5%
　官報公示整理番号　化審法　(5)-6732　安衛法　8-(7)-1316
　CAS番号　210880-92-5
有効成分②
　化学名（一般名）　3,4-ｼﾞｸﾛﾛ-2'-ｼｱﾉ-1,2-ﾁｱｿﾞｰﾙ-5-ｶﾙﾎﾞｷｻﾆﾘﾄﾞ（ｲｿﾁｱﾆﾙ）
　化学特性　$C_{11}H_5Cl_2N_3OS$
　含有量(純度)　2.0%
　官報公示整理番号　化審法　非該当　安衛法　届出済み
　CAS番号　224049-04-1

危険有害成分	PRTR法	安衛法 通知対象	毒劇法	CAS番号	含有量(%)
ｼﾘｶ	非該当	312(0.1%以上)	非該当	7631-86-9	40-50%

４．応急措置

吸入した場合　被曝者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。速やかに医師の診断を受ける。呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で酸素吸入または人工呼吸を行う。呼吸をしていて嘔吐がある場合は頭を横に向ける。意識がない場合は口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

皮膚に付着した場合　汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら洗浄する。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合　清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合　水で口の中をよく洗浄する。コップ1～2杯の水または牛乳を与え、胃内で薄めてもよい。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。直ちに医師の診断を受ける。必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横に向ける。意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

応急措置をする者の保護	救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、マスクなどの保護具を着用する。汚染された衣類や保護具を取り除く。

５．火災時の措置

消火剤	二酸化炭素、粉末、乾燥砂(初期火災) 泡消火剤、水噴霧(大規模火災)
使ってはならない消火剤	特に無し
特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素の他、窒素酸化物、硫黄酸化物等の有毒ガスが含まれる恐れがあるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。消火水が河川等に流入しないように気をつける。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。燃焼または高温により有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等）が発生する恐れがあるので、呼吸用保護具を着用する。容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができないときは、容器に注水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に流してはいけない。
回収･中和並びに封じ込め浄化の方法・機材	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水でよく洗浄する。洗浄水は全て密閉できる容器（廃棄物入れ）に回収する。(処分は「廃棄上の注意」の項に従って行う。)
二次災害防止策	特に無し

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	換気のよい場所で取扱う。屋外で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではならない。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。加熱したり、摩擦、衝撃を与えない。工具は火花防止型のものを用いる。
注意事項	容器を転倒、落下させる、引きずるまたは容器に衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。全体換気設備のあるところで取扱う。
安全取扱い注意事項	特に無し

保管

保管条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。容器を密閉し、異物の混入を避けて、通気のよい場所に保管する。
技術的対策	通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。
混触禁止物質	現在のところ知られていない。
容器包装材料	情報無し

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱いの際はできるだけ密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。
許容濃度	管理濃度　未設定 日本産業衛生学会(2008年度版)　未設定 ＡＣＧＩＨ(2008年度版)　未設定

保護具

呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	不浸透性手袋
目の保護具	保護眼鏡、防災面
皮膚及び身体の保護具	保護服、帽子、ゴム等の前掛け、長靴等

９．物理的及び化学的性質

外観等	
物理的状態	固体
形状	細粒
色	類白色
臭い	情報無し
ｐH	8.9（農林水産省告示第71号による方法）
引火点	情報無し
燃焼限界－上限(%)	情報無し
燃焼限界－下限(%)	情報無し
比重（相対密度）	0.89（見掛け比重）
溶解性	情報無し
その他のデータ	特に無し

１０．安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応性	情報無し
避けるべき条件	情報無し
混触禁止物質	情報無し
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等が発生する恐れがある。

１１．有害性情報

急性毒性	経口（ラット）LD_{50}：　♀ >2000 mg/kg
	経皮（ラット）LD_{50}：♂♀ >2000 mg/kg
皮膚刺激性	（ウサギ）：ごく軽度の刺激性あり
眼刺激性	（ウサギ）：軽度の刺激性あり
皮膚感作性	（モルモット）：感作性なし
生殖細胞変異原性	情報無し
発がん性	発がんのおそれ（シリカ：NITEの分類による）
生殖毒性	情報無し
特定標的臓器･全身暴露（単回暴露）	情報無し
特定標的臓器･全身暴露（反復暴露）	情報無し
吸引性呼吸有害性	情報無し
その他のデータ	情報無し

１２．環境影響情報

生態毒性	（コイ）	LC_{50}(96hr)	>1000 mg/L
	（オオミジンコ）	EC_{50}(48hr)	>1000 mg/L
	（藻類）	ErC_{50}(0-72hr)	>1000 mg/L

残留性・分解性	情報無し
生体蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

１４．輸送上の注意

国際規制	
国連分類	非該当
国連番号	ー
品名	ー
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
国内規制	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

１５．適用法令

農薬取締法	農薬
労働安全衛生法（安衛法）	第57条の2第1項 施行令第18条の2別表第9 名称等通知すべき有害物（ｼﾘｶ）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・

用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。